

ジャガイモ

ナス科ナス属の植物ジャガイモ。煮崩れしにくいので煮込み料理に最適のメイクイン。デンプン質が多くホクホクした食感の男爵。甘みと香りの良いキタアカリなど、年々種類も豊富になり品種選びの楽しみも。



作型

種いもは毎年更新する。(自家用種いもはウイルス病にかかっている場合がある。) マルチ栽培すると早取りが可能となる。連作を嫌うので、ナス科(なす、トマト、ピーマン等)を2~3年作っていない場所を選ぶ。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
春 植 え			△△	—		■	■						メイクイン・男爵・キタアカリ

△: 植え付け ■: 収穫

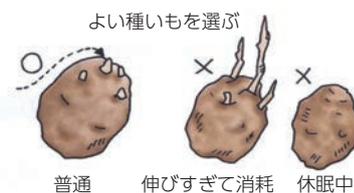
畑の準備・定植

土づくり 1a当たり	
堆肥	300kg
セルカ(有機石灰)	5kg
植え付け1ヶ月前に土とよく混合	
元肥 1a当たり	
醗酵鶏糞	20kg
畝立時施用	

- 2条植え 畝幅100~120cm 株間30~40cm(条間40cm千鳥植え)
- 深さ10cmの溝を掘り、底に元肥を施用後、間土し、いもの切口を下に向けて植える。
- 覆土は種いもの厚さの3倍程度(5~10cm)

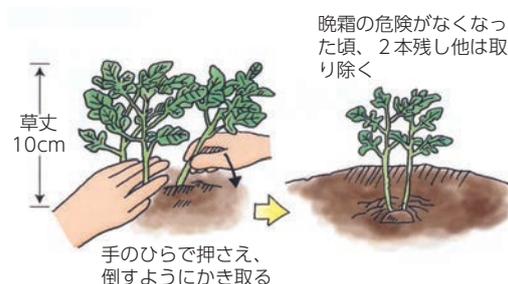
■種いもの準備

30~40gの種いもを用いる。60g以上のいもは30~40gとなるよう(芽が全て均等に付くよう)に切り、陰干し乾燥させる。



間引き・追肥・土寄せ

- 草丈10cm頃: 肥大促進のために太く大きい芽を2~3本残し、野菜専用肥料4~5kg/aを施用後、土寄せを行う。
- 草丈15~30cm頃: 株元に5cmの厚さに土寄せをする。(2回程度)



防除

病害虫名	耕種防除	農薬による防除
アブラムシ類	光反射テープを畝上に張る	トレボン乳剤 1,000倍 収穫7日前まで 3回以内
テントウムシダマシ	捕殺を行う	スミチオン乳剤 1,000倍 収穫3日前まで 6回以内

収穫

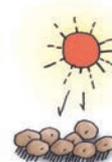
- 地上部が枯れるまでいもは肥大し続ける。
- 3~4日晴天が続き、土が乾いている時に傷付けないように掘る。雨が続けているときに収穫すると、腐りやすくなります。(新しいいもは皮が弱いので、丁寧に掘り取る。)

■貯蔵

収穫したら積み上げないようにして日陰で乾かす



直射日光に当てると緑化し品質を損ねる



スイートコーン



リノール酸やオレイン酸を多く含むスイートコーンは、悪玉コレステロールを減らす働きがあり、動脈硬化の予防や改善に効果があるといわれています。

作型

収穫適期の幅が狭いので、一度に多くまかないで、計画的に栽培する。一株に一穂収穫するように除房する。花粉が十分に雌穂にかかるように、一列に植えないようにする。マルチ栽培も良い方法。

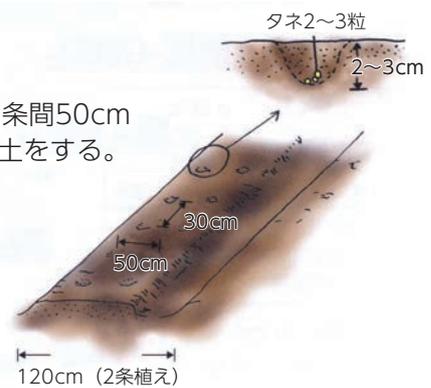
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
春まき				○	○		■	■	■	■			キャンベラ (黄種)、カクテル、 ピーターコーン (白黄粒)

○：種まき ■：収穫

畑の準備・定植

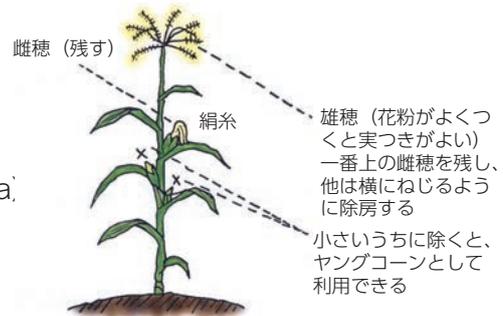
土づくり 1a当たり	
堆肥	300kg
セルカ (有機石灰)	15kg
BMようりん	2kg
植え付け1ヶ月前に土とよく混合	
元肥 1a当たり	
野菜専用肥料	10kg
畝立時施用	

- 2条まき：畝幅120cm 株間30cm 条間50cm
- 1カ所2～3粒まきとし、2～3cmの覆土をする。
- ポットまきの場合、2～3粒播種し、草丈10cm位で1本に間引き、15cmで定植する。



間引き・追肥・土寄せ

- 本葉4～5枚時：間引いて1本立ちとし、その後、(草丈15cm頃) 追肥、土寄せを行う。
- 草丈70～80cm頃：土寄せを行う。
- 雄穂の出る頃：追肥後、土寄せを行う。
(追肥の量：それぞれ野菜専用肥料5kg/a)



除房

- 最上位の第一雌穂を残し、他は早めにかき取る。

防除

病害虫名	耕種防除	薬剤防除
アワノメイガ	幼虫を見つけしだい補殺する	トレボン乳剤 (1,000倍) 7日前まで 4回
アワヨトウ	除草を行う	

収穫

- 絹糸が出て3週間後
- 絹糸が黒褐色となった頃) が収穫の目安
- 気温の低い朝に収穫する。
(時間の経過とともに水分・糖度が低下するので予冷を行う)

